



荷役用電気機器の 躍進をめざして

Studies of Electrical Equipment
of Material Handling Machines

しゃく熱した溶鉱炉の上を走る天井クレーンや岸壁で活躍する陸揚機などの荷役機械は、高能率化を目指して、ますます高性能化を要望されている。したがって、これに使用される電気機器も性能および耐久性に関し、なお一層の向上を図らねばならない。日立製作所習志野工場では早くからこの点に着目し、特に巻上用のモートルや制御器具に関しては、実用運転と同等以上にテストできる荷役試験塔を設置している。その仕様は次の通りである。

- | | | | |
|------------|--------|----------|-----------|
| (1) 試験モートル | 5～50kW | (2) 巻上速度 | 2～25m/min |
| (3) 揚程 | 10m | (4) 最大荷重 | 10t |

写真はこの試験塔で30kW三相誘導電動機に荷重5tをかけ、巻上速度25m/minでモートルおよびブレーキの動作特性試験をしているところを示す。この試験塔では反復定格の温度上昇試験や異常過速度試験などを含む一連の過酷テストができる。また新しい運転制御方式の開発に利用される。今後の荷役用電気機器の高性能化をになう試験塔は、今日も毅然としてそびえている。

(日立製作所 習志野工場)